

広報 五戸

2005年 / 8月号 / Vol. 554

第37回 五戸町民運動会

9月25日(日) 8:50～

ひばり野公園陸上競技場



「また会おうね！」

川内中の生徒が韓国沃川郡の
中学生と交流

との合併1周年 — 記念式典

輝かしい未来へ向けて



町民憲章を唱和する参加者



三浦正名町長による式辞



三浦俊哉町議会議長のあいさつ

五戸町・川内村・浅田村合併50周年と五戸町・倉石村合併1周年にあたって町では7月24日、町立公民館で記念式典を開催しました。

式典には、国・県・近隣市町村関係者や歴代の町特別職・議会議員、功労者や各種委員、自治会長、農事組合長、各種関係団体長ら約250人を招待し、町の節目を祝いました。



三村申吾県知事の祝辞を代読する長谷川義彦県出納長

国歌斉唱、物故者への黙とう、町民憲章の唱和に続き、三浦正名町長が式辞、三浦俊哉町議会議長があいさつを述べました。その後、三村申吾県知事（代読）および衆参議院議員から祝辞をいただきました。

最後に、旧五戸町・旧倉石村それぞれを代表する伝統芸能「荒町自治会祭り音頭」と「石沢の駒踊」がアトラクションとして披露され、式典に華を添えました。



「石沢の駒踊」



「荒町自治会祭り音頭」

五戸町町村合併50周年 一 倉石村

式辞(抜粋)

…(前略)… 私たちの郷土五戸町は昭和30年7月1日、町村合併促進法の時代の要請と地域先人諸氏の強い発展意欲により五戸町・川内村・浅田村が大同団結し、新たに人口約2万人余の五戸町として誕生以来、ここに50年という時を刻んで記念すべき年を迎えたのであります。

また、この合併後昭和33年6月までの間に野沢村大字手倉橋の区域、豊崎村のうち字上長下、下長下および惣林橋の区域、八戸市の豊崎村大字豊間内の区域が本町に編入となり、…(中略)… ；基幹産業である農業を土台に各分野で発展を遂げてまいりました。

しかしながら、改めて半世紀を振り返ってみますと、着実な今日の本町の伸展の裏には幾多の苦難を乗り越えた歴史があり、決して平坦な道ばかりではありませんでした。特に、今でも忘れもしない昭和43年5月16日に発生した十勝沖地震での災害であります。本町は死者11人、負傷者21人、被害額24億円余の甚大な被害を被りました。

…(中略)… 町民の限りない努力と関係者各位の御尽力により、度重なる困難を乗り越えてきました。

こうした中で明るい出来事として、昭和39年八戸地区新産業都市の指定を受けて以来、41年から地蔵平に大規模工場団地を造成し、これと並行して企業誘致を進め、農工併推の町として発展してまいりました。

さらには昭和54年に統合五戸中学校、55年国道バイパス、56年ひばり野公園、…(中略)… 平成12年には町営住宅二本柳団地建替えがそれぞれ完成するなど、学校教育や社会教育・体育の環境基盤、農業生産の条件基盤、都市生活基盤等の整備充実に大きな伸展を見ることができました。

また、平成7年に完成した新五戸総合病院は、救急医療にも対応して地域医療の拠点となっており、平成10年には五戸代官所跡に12万冊の収蔵能力を有する図書館と復元された代官所が完成、図書館内には日本初の国産旅客機YS-11の生みの親として知られる名誉町民木村秀政博士の生い立ちや功績を展示し

ております。

このように、社会経済の変化や自然災害の発生など幾多の苦難を乗り越えながら、合併後の社会資本基盤の整備をはじめ福祉の充実、教育文化・産業の振興等々を目指し、着実な進展を続けておりますのも、ひとえに国および県当局をはじめ関係各方面の力強い御支援と御協力によるものであり、そして郷土発展のために御精励くださいました町議会議員諸氏ならびに町民各位の熱烈な郷土愛の賜と、心から敬意と感謝申し上げます次第であります。

近年、日本経済の長引く低迷に伴い、国・地方を通じ行財政環境は非常に厳しい状況が続いております。このことから地方自治体は、財政の健全性を図りながら、行政需要の質・量とも複雑多様化に対応して住民の満足度向上に努める行政を同時に展開するためには、住民との協働を推進するとともに、施策の優先度・重要度を重視した選択と集中の視点がこれまで以上に求められております。

私たち五戸町は、このような行財政環境を踏まえ、かつ地方

分権を基軸とした国と地方自治体のあり方の大きな改革の流れに対応し、自主自立の確固たる財政基盤の確立に向けて取り組み、さらなる本町発展を築き上げるため、昨年7月1日に倉石村との編入合併を行い、より効率的な行政運営を目指して行財政改革を推進し、将来像とする「みんなで創る 活気あるまちごのへ」の実現に向けて、住民と行政が協働で取り組み、まちづくりを推進しているところであります。なにとぞ、今後とも本町発展のために、引き続き皆様の御助力と御鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、この意義深い町村合併50周年ならびに倉石村との合併1周年に当たり、町勢発展に御尽力賜りました先輩諸氏、御来賓各位、町民の皆様を重ねて心から敬意と感謝を申し上げますとともに、本日御臨席賜りました皆様の御健勝と御繁栄を御祈念申し上げ、五戸町の未来が輝かしいものでありますようお願いを込めて式辞といたします。

平成17年7月24日

五戸町長 三浦 正名

中心商店街で

メモリアルイベント



バンドパレード



ハワイアンダンス



王将太鼓



マグロ解体ショー



紅白祝い餅まき



流しラーメン



琴けい子ミニコンサート



三味線大饗宴



ちびっこカラオケ大会



流し踊り



よさこいソーラン



風流しラーメン大会



GGライダーお祝い走行

五戸町商工会（北紀一会長）では、記念の年を祝おうと恒例の「ビックリ夜店」を拡大、7月24日から27日までの4日間にわたって「中心商店街納涼祭り」を開催しました。

初日の24日は、オートバイグループGGライダーの約80台によるお祝い走行を皮切りに、商店街を歩行者天国にして流し踊りやバンドパレード、よさこいソーランなどが披露されました。

青森銀行五戸支店前の特設ステージでは、北商工会長・三浦町長らによって紅白の祝い餅がまかれました。そのほかハワイアンダンス、三味線や和太鼓の演奏などさまざまな催しが行われ、たくさんの方々が詰め掛けました。

また、25日には流しソーメンや見物客を巻き込んだのよさこいソーラン輪踊り、乾めんを投げて飛距離を競う風流しラーメン大会、26日にはマグロ解体ショー、27日にはちびっこカラオケ大会や名川町出身の演歌歌手琴けい子さんのミニコンサートが行われ、賑わいをみせていました。

新・農業委員決まる

五戸町農業委員会委員選挙が7月5日告示され、無投票で20人の新委員が決定しました。また、7月20日に招集された町議会臨時会において4人が議会推薦されたほか、しんせい五戸農協、八戸広域農協、南部地域農業共済組合および中市筒口土地改良区から各1人ずつの推薦が決まり、計28人が選任されました。

○当選者（議席順）

会長	鳥谷部 孝雄（蛭川）
会長職務代理者	三浦 房雄（豊間内）
沼沢 勝義（沼沢）	村越 良一（下大町）
梅津 裕一（中市）	足名 勝志（中市）
鈴木 勝利（浅水上）	佐々木 利夫（横倉）
川村 龍雄（浅水下）	川崎 良巳（切谷内）
名久井 忠雄（新町）	竹原 誠（太田）
小村 喜幸（檜沢）	小保内善右兵衛門（切谷内）
中崎 正男（上市川下）	

中里 才吉（上市川上）	三浦 義平（川原町）	勝山 實（古川代）	佐々木 克文（菖蒲川）	高奥 榮（下大町）
-------------	------------	-----------	-------------	-----------

○議会議任委員

浦屋 敷節男（浦田）	中川 原良悦（扇田）	東海林 康邦（ひばり野）	鈴木 光明（石呑）	しんせい五戸農協推薦委員
川村 義弘（蛭川）	八戸広域農協推薦委員	高橋 富彌（志戸岸）	南部地域農業共済組合推薦委員	勝山 謙一（古川代）
中市筒口土地改良区推薦委員	三浦 亮一（川原町）			

全国各地から ハッシーが集結!!



“遅さ”勝負！ バランス感覚が決め手です

7月30日と31日の2日間、小渡平公園で「第3回RED HOT CAMP in 倉石」が開催され、ハッシー・ダビッドソンを中心とするオートバイ愛好者がキャンプを通じて互いに交流を深めました。今回は全国各地から約200台が集い、遠くは鹿児島県から来た人もいました。当日はさまざまなゲームが行われ、倉石牛や五戸産りんごジュースなどの賞品を懸けて熱戦が繰り広げられました。なお、イベントの益金は町の福祉のために寄付いただきました。

郵便局長夫人が タオルを寄贈

五戸町、階上町、八戸市南郷区の郵便局長夫人で構成される青森県東部局長夫人会三戸北部会（村松なつ子部会長）では7月28日、五戸町大字上市川のデイサービスセンターコスモス（石田律子管理者）にタオル800枚を寄贈しました。同会では毎年、管内の福祉施設に車イスやタオルを贈っています。



この日は上市川局長夫人の久保田千佳子さんと浅田局長夫人の澤口千恵子さんが同施設を訪れ、「利用者の皆さんで使ってください。」と目録とタオルを手渡しました。

住民の声を県政に —— 知事とのわいわいミーティング

県民参加型県政の一環として青森県が主催する「未来デザイン県民会議ー知事とのわいわいミーティング」が7月26日、町立公民館で開催され

ました。市町村単位では、五戸町が初めての開催となりました。この日は町長の推薦を受け、た五戸町民代表と三村申吾県知事が対談して、「少子化問題」や「地域づくり」、「攻めの農業」などについて意見交換しました。

なお、対談の詳しい内容については青森県のホームページに掲載されています。

<http://www.pref.aomori.jp/kemin-koe/newpage1.htm>



町民と意見を交わす三村知事

夏の夜空に咲く大輪 ごこのへ夏まつり

8月6日と7日の両日、ひばり野公園で「ごこのへ夏まつり」が開催されました。

陸上競技場では2日間にわたって「みちのく少年サッカー大会」が行われ、県内外から集結した24チーム370人の子どもたちが熱戦を繰り広げました。

また、7日は芝生広場に馬肉のバーベキューコーナーが設けられたほか、フリーマーケットや特設ステージでのパ

ンド演奏なども催され、大勢の人が詰めかけました。

このほかハーレーチャリティー試乗会やクラシックカー・カスタムカー展示会も行われ親子連れに人気を博していました。

午後7時30分からは、満を持しての花火大会。夜空を光と音が彩るたびに大きな歓声が上がっていました。



ようこそ五戸町へ 姉妹都市韓国沃川郡から中学生が来町

このほど、五戸町と姉妹都市を締結している韓国沃川（オクチョン）郡から張宰榮（チヤン・ジェヨン）教育課長率いる中学生ら39人が、五戸町を訪れました。

一行は7月24日に五戸町に到着し、中心商店街での合併記念イベントを見学。屋台で五戸町の名物料理を堪能したり、町民と記念写真を撮ったりして交流を深めました。

また、25日には川内中学校（村田昭二校長）を訪問。最初は緊張気味だった両国の生徒たちでしたが、ソフトボールを一緒に楽しみ、言葉の壁を乗り越えて気持ちを通い合えたようでした。帰り際には、別れを惜しんで住所やメールアドレスを交換する場面も見られました。

このほか十和田湖や三沢航空科学館、浅虫水族館などを見学した一行は7月28日、再会を約束して祖国へと帰っていきました。



国指定重要文化財「江渡家住宅」を見学



合併記念イベント 屋台村にて

人権擁護委員が 変更になりました

長年、人権擁護委員を務めてきた原富美子さんがこのたび退任し、7月1日付けで原博さんが新たに委員に委嘱されました。

法務大臣が委嘱する人権擁護委員は戸籍・登記・金銭問題など人権に関する身近な相談相手です。秘密を守り、問題解決の手助けをします。口頭・電話・手紙などによりお気軽にご相談ください。相談料は無料です。

新・人権擁護委員



原 博
(五戸町大字上市川字上市川30)
☎68-2084



法務大臣からの感謝状を受け取る原富美子さん

五戸総合病院 地域総合医療の拠点に

●五戸総合病院医師一覧表(9月)

診療科	職名		医師名		備考
	科長	副科長	科長	副科長	
内科	副院長	科長	新井田修久	愛川俊信	
	副科長	科長	田口順	矢田部宏一	(総合診療担当)
	副科長	副科長	對馬清人	東山明弘	
	非常勤	非常勤	三浦昌人	大根田昭	水曜日の午後 木曜日 第1・3火曜日
(循環器) (糖尿病)	非常勤	非常勤	蝦名宣男	渡部秀一	(科長)
外科	副院長	副院長	原田昭彦	佐々木宏之	
産婦人科	副院長	副院長	井戸川敏彦	笹野拓也	
小児科	非常勤	非常勤	(弘前大学)	三上靖隆	第1・2金曜日
整形外科	非常勤	非常勤	(弘前大学)	深瀬栄一	金曜日・土曜日 (医療技術局長)
脳神経外科	科長	科長	藤原貴光	南場淳司	火・水曜日
眼科	非常勤	非常勤	梶田真理子	梶田真理子	月曜日
耳鼻いんこう科	非常勤	非常勤	丸屋信一郎	木曜日	火曜日
皮膚科	非常勤	非常勤	(東北大学)	木曜日	金曜日

※曜日ごとの外来診療にあたる医師名は、各科外来受付に表示してあります。
※都合により変更になることがあります。

麻しんおよび風しんの予防接種のお知らせ

予防接種法の一部改正に伴い、平成18年4月1日から麻しんおよび風しんの接種対象年齢が変更されます。まだ接種をしていない対象幼児は、町民カレンダーの予防接種日程表を確認して接種してください。

なお、平成18年度からは生後24か月を超える幼児は接種できなくなりますので注意してください。

〈主な改正点〉

区分 種類	改正後(H18.4.1~)	改正前(現行)
麻しんおよび風しん	〈対象年齢〉 第1期 生後12か月~24か月	〈対象年齢〉 生後12か月~90か月
	第2期 5歳以上~7歳未満 ※麻しん風しん混合ワクチンで2回接種になります。	※それぞれ1回接種

○対象者

生後12か月~90か月の未接種者

○日程

町民カレンダーの予防接種日程表のとおり

○問い合わせ・申し込み先

役場保健衛生課 ☎62-7958

10月1日から医療費の助成制度が変わります

重度心身障がい者の方

<改正内容>

平成17年10月1日から低所得者（住民税非課税世帯）を除き、老人保健法の一部負担（1割負担、上限月額：外来12,000円、入院40,200円）を負担していただくことになりました。

また、今までの支給制限に加えて、国民健康保険適用世帯で基礎控除後の所得金額を合算した額が670万円を越える方、および65歳以上の住民税課税世帯の方は対象者から除かれます。

受給者の医療費の負担は次のとおりです。

区 分	65歳未満	65歳以上
住民税課税世帯	1割	助成の対象外
低所得者（住民税非課税世帯）	自己負担なし	

<医療機関窓口における支払い>

- (1) 社会保険および老人保健適用者は、償還払いとなるため、医療保険の自己負担金額分を支払うこととなります。（現行どおり）
- (2) 国民健康保険適用者は、重度心身障がい者医療費受給者証の「一部負担金の割合」欄が
 - ①空欄の場合は、医療機関窓口において支払いはありません。（現行どおり）
 - ②「1割」と記載されている場合は、窓口で1割（入院の場合のみ上限を40,200円まで）支払うこととなります。

<助成方法>

受給者の医療費の助成方法は次のとおりです。

社会保険・老人保健適用者		償 還 払 い	
国民健康保険適用者	住民税課税世帯	現物給付	1割払い（2割現物給付）
	低所得者 （住民税非課税世帯）		窓口払いなし

* 国民健康保険適用者で住民税課税世帯の窓口払い分については、償還払いの対象となります。

<対 象 者>

- ・身体障がい者手帳1級、2級または3級（3級に該当する方にあつては、心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸の機能の障がいをもつものに限る。）の交付を受けている方
 - ・青森県愛護手帳Aの交付を受けている方
 - ・精神障がい者保健福祉手帳1級の交付を受けている方
- *ただし、平成16年10月1日以降に65歳以上で新たに重度心身障がい者となった方は、助成対象外です。

ひとり親家庭等の方

○入院時食事療養費標準負担額が、助成の対象外となります。

入院時食事療養費標準負担額については、平成17年9月診療分まで助成の対象とし、平成17年10月診療分からは助成の対象外とします。

問い合わせ先 役場福祉課 TEL 62-2111 内線253

石綿を取り扱う作業に従事していた方は 健康診断を受けましょう

石綿による健康被害が多発しており、今後も増加することが懸念されています。

下記の作業に従事していた方は、石綿にばく露している可能性がありますので、最寄りの医療機関に相談の上、胸部レントゲン検査などによる健康診断を受診するようにしてください。

(受診の際、過去に石綿にかかわる作業を行っていた旨を医師にお伝えください。)

- ①石綿鉱山またはその附属施設での石綿を含有する鉱石・岩石の採掘・搬出・粉碎その他石綿の精製に関連する作業
- ②倉庫内などにおける石綿原料などの袋詰めや運搬作業
- ③以下の石綿製品の製造工程における作業
 - ・石綿糸・石綿布などの石綿紡績製品
 - ・石綿セメントまたは石綿スレート・石綿高圧管・石綿円筒などのセメント製品
 - ・ボイラーの被覆・船舶用隔壁のライニング・内燃機関のジョイントシーリング・ガスケット(パッキング)などに用いられる耐熱性石綿製品
 - ・自動車・捲揚機のブレーキライニングなどの耐摩耗性石綿製品
 - ・電気絶縁性・保温性・耐酸性などの性質を有する石綿紙・石綿フェルトなどの石綿製品または電解隔膜・タイル・プラスターなどの充填剤・塗料などの石綿を含有する製品
- ④石綿の吹き付け作業
- ⑤耐熱性の石綿製品を用いて行う断熱・保温のための被覆またはその補修作業
- ⑥石綿製品の切断などの加工作業
- ⑦石綿製品が被覆材・建材として用いられている建物やその附属施設などの補修・解体作業
- ⑧石綿製品が用いられている船舶・車両の補修・解体作業
- ⑨石綿を不純物として含有する鉱物【タルク(滑石)・バーミキュライト(蛭石)・繊維状ブルサイト(水滑石)】などの取り扱い作業
- ⑩上記①～⑨の作業の周辺などで間接的なばく露を受ける可能性のある作業

タバコを吸わないようにしましょう

石綿にばく露した方が喫煙をした場合、肺がんによって死亡するリスクが50倍以上になるといわれています。

健康管理手帳制度や労災補償制度があります

健康診断の結果、胸部レントゲン検査で一定の症状がある場合などは、最寄りの労働局に申請すれば、健康管理手帳の交付を受け、無料で定期的に健康診断を受けることができます。

また、石綿肺・肺がん・中皮腫などを発症した場合には、石綿にばく露したことが原因であると認められれば、労災補償を受けることができます。

●健康管理手帳・健康診断・労災補償についての問い合わせは・・・

青森労働局 TEL 017-734-4111 八戸労働基準監督署 TEL 46-3311

●石綿による健康への影響や治療方法についての相談は・・・

(独)労働者健康福祉機構の

青森産業保健推進センター TEL 017-731-3661

青森労災病院 TEL 33-1551

文芸館のへ

〈川柳〉

言い訳は止そうと思ふ桜桃忌 恵 女 (川原町)
 人間味失せて心に隙間風 か く (天満後)
 感動を求め自然に触れてみる 友 子 (下毛沢向)
 農を継ぐ子もなく老いの重い鉄 芳 実 (中道十文字)
 明日があるから夕焼けが美しい 幸 子 (ひばり野)
 生涯の仲間づくりに軽い足 マ サ 子 (豊間内)
 善人を演じつづける肩の凝り 實 (新蔵長根)
 職退いた目覚め体が知っている 禮 子 (地藏平)
 言葉数重ねるほどに嘘が見え 英 子 (愛宕下)
 竹の子のように育てと親の愛 花 絵 (新 丁)
 生かされて幸せ感謝掌を合わせ 丸 子 (竹 原)
 恐れない自信は助言など聞かず さ ざ え (大学沢)
 もう一度咲かせる夢を取って置く 綾 子 (川原町)
 確実に老いを進める暦剥ぐ 雪 魚 (川原町)
 ポキパキと骨を組み立てながら起き 善 太 郎 (五戸町)
 憤り何に向けよう自爆テロ 久保田玲子 (菖蒲川)

〈俳句〉

亡き父のひびき笛の音夏まつり 佐々木はるの (上市中区)
 夏けはいさえずりわたる神明宮 小 毛 毬
 原爆忌鐘の響に手を合せ 沢向 匿名

〈短歌〉

腰痛に眠りも浅き夜の明けに 高谷 トヨ (上大町)
 雷遙かとどろきて止む
 今もなおわれらがリーダーなつかしく 高嶋 春松 (野 月)
 墓前につどいありし日しのぶ
 道端でひそひそ話や盆の入り 類家 清美 (菖蒲川)
 傘もささずに雨に濡れながら
 夏の夜の一番煌めく星に見る 橘 ミネ子 (北市川)
 好友は今もいるころのなかに
 次の世は幸多かれと祈りつゝ、 瀬川 きゑ (下大町)
 先立ちし悴に線香を上げ
 飼犬の吾になつけば吾もまた 田代十志男 (上市川)
 かわいさ募りまたも頬ずり
 忘れまい防空頭巾救急袋 藤村 ナヲ (鍛冶屋窪)
 国民学校初等科三年の夏

●皆さんの作品を「文芸館のへ」に発表してみませんか。
 川柳・短歌などの区別を明記し、総務課広報係へ。
 心よりお待ちしております。

2005 国勢調査
 平成17年10月1日(土)



~10月1日 国勢調査

1億?千?百?十?万?千?百?十?人
 「?」を埋めるのは、
 この国に暮らす
 私たち一人一人です。

あなたの調査票には
 日本の大切な未来がつまっています。

総務省統計局 青森県 五戸町

愛犬家の皆様へ

犬のフンは飼い主の方が責任を持って片付けてください。犬の放し飼いもやめてください。町民からの苦情が増えています。快適で住みよい環境づくりにご協力ください。

問い合わせ先
 役場保健衛生課 TEL 6 2-7 9 5 8

—検針業務にご協力ください—

安全に検針するため、メーターの位置から離れた場所に犬を繋いでいただきますようお願いいたします。また、鎖の長さやゆるみなどの確認もお願いいたします。

問い合わせ先
 東北電力(株)八戸営業所料金課 TEL 4 3-5 6 2 4

情報ステーション



このへ 大空に夢をはこぶ町

町営住宅入居者募集

●募集戸数

- (1)二本柳住宅 2戸
- (2)コスモス住宅 1戸
- (3)コスモス単独住宅 2戸

※規格Ⅱ(1)(2)は3DK
(3)は3LDK

●募集住宅最低家賃

- 二本柳① 21,900円
- 二本柳② 22,200円
- コスモス 17,000円
- 単独住宅① 30,000円
- 単独住宅② 32,000円

※二本柳・コスモスは所得によって家賃が変わります。

●申し込み締切

平成17年9月9日(金)

●申し込み方法

申込書と添付書類を倉石分庁舎1階の建設課窓口へ提出してください。(平日午前8時15分～午後5時)

※申込書は役場住民課・建設課(倉石分庁舎・川内支所・浅田支所)にあります。

●申し込み資格

- ①現在同居または同居しようとする親族があること
- ②控除後の収入月額が20万円を超えないこと(同居する

家族全員の収入が対象)

③現に住宅に困窮していること

④市町村民税を滞納していないこと

※ただし、単独住宅に②は適用しない。

●選考方法

住宅困窮の度合の高い順に入居を決定するものとする。

●問い合わせ先

役場建設課
TEL 62-2111内線443

自衛官募集

●防衛大学校学生(一般)

○受験資格

21歳未満の高卒者(卒業見込みの者を含む。)

○第1次試験日

平成17年11月12日(土)
11月13日(日)

●防衛医科大学校学生

○受験資格

21歳未満の高卒者(卒業見込みの者を含む。)

○第1次試験日

平成17年11月5日(土)
11月6日(日)

●看護学生

○受験資格

24歳未満の高卒者(卒業見込みの者を含む。)

○第1次試験日

平成17年10月16日(日)

●受付期間

平成17年9月9日(金)から
9月30日(金)まで

●問い合わせ先・申し込み

・自衛隊八戸募集事務所
TEL 45-11920

・自衛官募集相談員

- 川村菊之蔵 TEL 62-2971
- 福田 馨 TEL 62-2419
- 中川原良治 TEL 62-4301
- 小泉 昌明 TEL 62-5491
- 川崎 孝光 TEL 68-2556
- 橋向 党子 TEL 77-3151
- 久保 富弥 TEL 77-2587

精神保健福祉 ボランティア講座

●日時

・基礎コース

平成17年10月19日(水)から
10月21日(金)までの3日間

・実践コース(講義)

平成17年11月7日(月)
11月17日(木)

・実践コース(施設実習)

平成17年11月8日(火)から
11月15日(火)のうち平日
2日間

※時間はいずれも午前10時から午後4時まで

●場所

八戸保健所、精神障がい者
社会復帰施設

●対象

精神保健福祉に関心のある
方(定員40人)

※実践コースは基礎コース終了者が対象です。

●受講料

無料

●申し込み期限

平成17年10月7日(金)

●問い合わせ先・申し込み

八戸保健所 保健予防課
TEL 27-5111

町図書館からのお知らせ

9月2日(金)はお祭りのため午後5時閉館となります。お間違えのないようお願いいたします。

●問い合わせ先

町図書館
TEL 61-1040

法務局からのお知らせ

青森地方法務局八戸支局では、8月29日から不動産、商業・法人登記のオンライン申請ができるようになります。

○登記の申請をインターネットを利用して行うことが可能になります。

○登記事項証明書の送付をオンラインで請求することが可能になります。(郵送により交付)

○従来の書面による登記申請も引き続き可能です。

○不動産登記

・オンライン申請をする場合は、登記申請情報および添付情報をインターネットを利用して送信する必要があります。

・従来の登記済証(権利証)の交付に代わり登記識別情報の通知および登記完了証が交付されることとなります。なお、現在登記名義人が持っている登記済証(権利証)は、初回の書面申請において、添付書面として利用することができます。

・八戸支局管轄の一筆の土地

または一個の建物ごとに不動産番号が付されます。

○商業・法人登記

・オンライン申請する場合は、登記申請書情報および添付書面情報をインターネットを利用して送信する必要があります。なお、添付書面情報については、書面を提出または送付も可能です。

●問い合わせ先

法務省オンライン申請システムのホームページ
<http://shinsei.moj.go.jp>

特殊地下壕(防空壕)の情報をお寄せください

今年4月に鹿児島市の地下壕で中学生4人が亡くなる事故が発生しました。

本県では平成13年度の調査で23か所の地下壕の存在が確認されていますが、鹿児島市の事故は未確認の地下壕で発生しており、県内においても未確認の地下壕の存在が考えられることから、特殊地下壕(防空壕)の実態把握のために情報収集を行います。地域の情報に詳しい皆様からの情報をお待ちしています。

●情報の届出期限

平成17年9月15日(木)

●情報の届出先

役場建設課
 TEL 62-2111内線442

農地の買受人募集

大字上市川字池ノ堂向28

田 1007㎡

同所 31-1

田 4256㎡

大字上市川字御兵糧33-1

田 1180㎡

●申し込み期限

平成17年9月21日(水)

●問い合わせ・申し込み先

農業委員会事務局
 TEL 62-2111内線432

下水道排水設備工事責任技術者試験

下水道排水設備工事責任技術者試験を行いますので、希望者は左記によりお申し込みください。

●試験日時

平成17年11月11日(金)
 午後2時から3時30分

●試験会場(八戸会場)

八戸プラザホテル別館
 アーバンホール 芙蓉の間

●受験申込書類の提出先

平成17年9月13日(火)から10月4日(火)までに受験料5,000円を添えて役場

上下水道課(分庁舎)へ持参してください。(郵送不可)

●合格発表

平成17年11月30日(水)
 午前9時

役場上下水道課内

※合格者には、合格通知書が県支部から送付されます。

●問い合わせ先

・青森市上下水道部総務課内
 日本下水道協会青森県支部
 TEL 017-734-4201

・役場上下水道課
 TEL 62-2111内線451

県税 不動産取得税の軽減制度について

土地を取得した日から3年以内にその土地の上に住宅を新築、または土地を取得した日から1年以内にその土地の上にある自分で住むための建売住宅・中古住宅を取得した場合などには、土地の不動産取得税が軽減されます。

○土地の税額の1/4が軽減(平成15年3月31日までの土地の取得に限る。)

○前記のほか、住宅が一定の要件に該当する場合、最低4万5千円が軽減

なお、平成14年4月1日以降に土地を取得した場合は、土地と住宅の取得者が異なる場合でも軽減を受けられます。(中古住宅を除く。)

●問い合わせ先

八戸県税事務所課税第二課
 TEL 27-5111内線209

9月10日は「下水道の日」

□□ 下水道 いくつか私に もどる水 □□

下水道施設一般公開!!

●とき 9月8日(木)~12日(月) 9:00~16:00

●ところ 馬淵川浄化センター
 八戸市大字河原木字蓮沼1-21
 (八太郎トンネル フェリー側出口左)

★入場無料。ご来場の皆様には、ささやかな記念品を用意しています。

●問い合わせ先

(財)青森県建設技術センター 馬淵川浄化センター
 TEL 29-1652 (代表)

9月の行事予定

- 町民カレンダーと合わせてご利用ください。
- 行事についての問い合わせ
TEL62-2111 五戸町役場

■2日(金)～4日(日)
五戸まつり

■11日(日) 衆議院議員総選挙投票日

■25日(日) 第37回五戸町民運動会
8:50～ ひばり野公園

■30日(金) 戦没者追悼式
11:00～ 町立公民館

9月の相談

相談は無料です

■13日(火) 行政相談
10:00～15:00 倉石コミュニティセンター

■27日(火) 行政相談
13:00～16:00 倉石温泉

■毎週木曜日
みんなの保健室(健康相談)
13:00～15:00 役場保健衛生課

■交通事故移動相談
日程は相談者と調整
TEL017-734-9235

町民歩こう会 参加者募集!

- とき 10月16日(日)
- ところ 薬研溪流(むつ市大畑町)
- 受付期間
9月26日(月)～9月30日(金)
- 問い合わせ・申し込み先
教育委員会社会教育課
TEL 62-2111 内線525

あなたの土地は 大丈夫ですか!

私有地への不法投棄が増えています。道路から少し入った所に捨てられるケースが多くなっていますので、注意してください。

●問い合わせ先
役場保健衛生課 TEL62-7958

●申し込み期限
平成17年9月9日(金)

●問い合わせ・申し込み先
役場福祉課 基幹型在宅介護支援センター
TEL 62-2111 内線254

衆議院議員総選挙

投票日 平成17年9月11日(日) 午前7時～午後8時

期日前投票
期間 平成17年8月31日(水)～9月10日(土)
時間 午前8時30分～午後8時
場所 五戸町役場本庁舎 2階 庁議室

五戸町交通安全対策協議会 五戸警察署

秋の全国交通安全運動

9月21日(水)～9月30日(金)

運動の重点

1. 高齢者の交通事故防止
2. 夕暮れ時の歩行中と自転車乗用中の交通事故防止
3. シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

早め点灯運動 9月の点灯目安時刻…16:30

終戦当時の 引揚者の方々へ

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。返還の申し出は本人だけでなく家族の方でも結構です。

○終戦後、外地から引き揚げてこられた方が、上陸地の税関、海運局に預けられた通貨・証券など

○外地の集結地において総領事館などに預けられた証券などのうち、日本に送り返されたもの

●問い合わせ先
八戸税関支署
TEL 33-0423

県南果樹研究センター 参観デー開催

●日時
平成17年9月14日(水)
9月15日(木)
午前9時から午後4時

●場所
五戸町大字扇田字長下タ2

●開催行事
県南果樹研究センター

●開催行事
果樹試験ほ場案内、試験成果の展示

●果樹栽培相談所の開設
くだもの試食コーナー
場内生産物の販売 ほか

●問い合わせ先
県南果樹研究センター
TEL 62-4111

「心の健康づくり」 講演会開催

●とき
平成17年9月16日(金)
午後6時～7時30分

●ところ
町立公民館(小ホール)

●講師
NPO法人あおもりのち

●対象
の電話 代表 石川敏一氏

●介
介護支援専門員・介護サ
ビス関係者・民生委員・保
健協力員、その他心の問題
に関心のある方

●申し込み期限
平成17年9月9日(金)

●問い合わせ・申し込み先
役場福祉課 基幹型在宅介護支援センター
TEL 62-2111 内線254

郷土探訪

「おらほの大相撲」

南部山耕四郎

久保田耕四郎は耕三・しはの四男として明治三十四年（一九〇一年）八月二十九日、切谷内字高田川原二十五番地五号で生まれた。

耕四郎は子どものころから力がずば抜けて強く、切谷内小学校では勉強が進まなくて喧嘩なら負けなかったという少年だった。大正二年三月、次の十九人と卒業している。

- 新井山富士松 田中 松次郎
- 大久保房太郎 川崎 銀之助
- 久保田耕四郎 平井 勇次郎
- 大久保金之助 類家 多三郎
- 新井山 与助 田中 仁太郎
- 佐々木 いよ 田中 福次郎
- 佐々木 孫助 川崎 つや
- 佐々木 助惣 豊川 嘉吉
- 大久保 ふさ 大山 一郎
- 佐々木 ふさ

卒業後、古間木駅（現三沢駅）で荷役人夫をしていたが、ある日、同僚と喧嘩になって

五、六人を相手に春木（二薪）を取っては投げ、誰一人近寄る者もなかった。

その時、兎内から行っている若者が「逃げる。ここにいると殺されるぞ。」と言ったので逃げていったのが、そのまま東京の大相撲に行った、と本家の久保田陸郎が語っていた。



十両まで進んだ南部山耕四郎

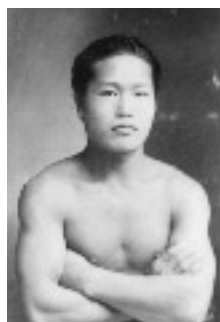
耕四郎の妹がによると、青森郵船にもいたが、函館の船けん夫をしていた時、大相撲の興行があつてそのまま相撲について行った。大正九年十二月には東京相撲に入ったが、背が低かったので翌十年一月には大阪相撲に移っている。

最初の四股名は真田川（まんだ）だったが、後で改名して南部山耕四郎と名乗り、十両まで進んだ。「十両になった時は嬉しかった。」と晩年になつてから、十両時代を懐かしんでいた。引退したのは捻挫（ひねざ）のためとも、大阪相撲が東京相撲と合併した時とも聞いている。

耕一（こゑいち）の妻はるは、耕四郎を「相撲オンジ、相撲オンジ」と呼んでいた。

耕四郎の耳は両方ともつぶれてなかつた。相撲の稽古はどんなに厳しいかを物語る証しであるようだ。切谷内小学校の小使をしたこともあつて、いうことを聞

かない児童はたたいたこともある元氣者だったが「相撲に行つてから、がらりと人柄が変わつて立派な人になつた。」と語る村民もあつた。



青年時代の耕四郎

耕四郎は相撲をやめて大阪港区の東神倉庫に勤めていたが、戦後は京都に移り、伏見倉庫に勤めた。老後は大阪府枚方市（ひらかた）に住み、酒ばかり飲んでいたので肝硬変症にかかり、大阪市の阪和病院で昭和五十年九月十日、七十五歳で死亡。葛蒲川共同墓地に眠る。

昭和五十五年八月十八日、切谷内小学校の相撲場が落成した時、久保田義美さんがお払いを頼まれ、その時のことが東奥日報・デーリー東北両紙で報道された。また、「切小だより」九月号、「広報五戸」十月号でも「切谷内小の卒業生で十両まで進んだ南部山耕四郎という力士を生んだ土地柄でもある」

と世間に紹介された。死亡後五年目のことであつた。五戸町文化財審議委員長 三浦 榮一

あたたかい善意

■人材育成基金として

東北三吉工業(株)（田沢英治代表取締役）から30万円

■福祉のために

REDHOTモーターサイクルクラブ（戸草内勇一代表）から5万円

納期限 9月30日
 固定資産税 第3期
 国民健康保険税 第2期
 介護保険料 第2期

町の人口

	(前月対比)	
男	10,253人	(+4)
女	10,991人	(-16)
総人口	21,244人	(-12)
世帯数	6,903世帯	(+5)
平成17年8月1日現在		